

事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 5 年 1 月 27 日

公表：令和 5 年 2 月 1 日

事業所名：チャイルドウィッシュあま

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		十分なスペースは確保されているが、鬼ごっこなど児童の動きが大きくなる場合は戸外に出ている、広いスペースで遊ぶようにしている。	遊びによって遊具のある公園へ出かけていき、発達を促していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	5		当日の児童の人数に合わせて配置している イベント時には内容に合わせて配置を多くしている	有資格者が在籍しており、職員の規定を満たしている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		怪我防止の為にジョイントマットを敷いている 安全マットの使用もしている	玄関入口の階段は対象者がいない為、バリアフリー化していない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日、チェックリストを使い消毒をおこなっている 支援後も消毒を行なっている	感染症が流行する季節には定期的な換気を行なっていく、消毒も徹底していく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		支援前にミーティングを行い、振り返りや情報共有を行なっている。 社員間ではミーティングの前に事前に振り返りを行なっている	全職員が参加できるようにしていく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		保護者向けに年に1回アンケートを実施している	アンケートを実施しているが、すべてにおいては改善に繋がっていない事がある ご意見や要望があった際はその都度対応をしていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	ホームページへの掲載をしている	毎年実施していく 職員全員にも周知していく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4	現在、第三者評価の実施はしていない	外部評価機関を模索していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		ミーティングを通して、研修のシェアを行なっている 法人内での定期的な研修を行なっている	全職員の研修への参加機会を増やしていける様に情報を発信していく。法人内研修もおこなっていく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		保護者面談を通して、ニーズ、課題の把握をしている	職員全員への周知もしていきます。 ミーティングを通しての児童1人1人の計画内容の確認をしていく
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		4	アセスメントシートを使い、保護者への聞き取りを行なっている	事業所に合う、アセスメントツールを模索していく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3		発達支援は計画に盛り込まれている 地域支援がイベントを通して戸外で出たり、地域の施設の利用をしている 保護者への相談に対して随時、対応している	ガイドラインを見直す機会を作っていく、ガイドラインに沿った支援を行えるようにしていく
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		計画の見直しをしている	職員全員で目を通して、日々の支援に反映させるようにしていく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	社員での立案を行なっている 内容に対しての振り返りを行なっている	社員での立案となっている為、ミーティング等で全員で立案をしていける様にしていく
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		イベントを通して、内容を模索している	週末に限らず、固定しないように戸外に出る機会を増やしていく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している		4	個々の特性に合わせて計画を作成している	個々の特性を理解していき、集団活動の中で個別で出来る活動の設定をしていく
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		参加出来ない職員に対しても分かるように、ミーティングノートの活用をしている。	当日の役割などもミーティングノートを通して共有しているが、口頭での確認もしていく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		4	当日は行っていないが、次の日にミーティングを行い支援の振り返りを行なっている。	当日のミーティングは行っていないが、問題があった際はその日の内に話し合いをしていく
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		記録作成後、かならず作成者の他に別の職員が内容の確認をしている	計画書を元に支援の確認や見直しをおこなっていくようにしていく	

20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1	モニタリング時期に合わせて計画書の見直しを行なっている	全職員での打ち合わせの機会を作っていく
----	---------------------------------------	---	---	-----------------------------	---------------------

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		児童発達支援管理者が会議に参画している	事前に全職員で情報共有を行なったうえで会議に参加できるようにしていく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	3	実績なし	関係機関との連携を取るよう訪問する機会を作っていく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		3	非該当	該当者なしであるが、いつでも受け入れが出来る体制を作っておくようにする
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		3	非該当	該当者なしであるが、いつでも受け入れが出来る体制を作っておくようにする
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3	実績なし	必要に応じ、希望があれば園への訪問を行なって情報共有に努めていく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3	実績なし	必要に応じ、移行先への情報共有に努めていく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		3	実績なし	左記の機関の研修も受ける機会を設けるよう努め、日頃から連携を取りやすい関係を築いていく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	実績なし	地域のイベントへの参加も検討していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		4	オーナーのみ参加	今後機会があれば検討していく 研修へ参加した場合は内容を共有していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎時に保護者への伝達、連絡帳の活用など。	ハグでの記録の配信を検討している 電話での対応も出来るようにしていく
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		4	実績なし	ペアレントトレーニングは今後の課題としている。 定期的な親子参加イベントの開催を行っていたが、コロナ禍で開催が難しくなっている。感染状況を見て今後、再開していきたいと考えている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に説明をしている	説明の際に丁寧な説明を心がけていく 内容について理解しているか確認していく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		遊びを通して自発性を促している。 イベントでの戸外や施設の利用などを行なっている	ガイドラインを見直す機会を作っていく、ガイドラインに沿った支援を行えるようにしていく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		相談については随時対応しています。	定期的に保護者会を開催していく、相談の機会を増やしていく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	グループでの親の会の配信のお知らせを行なっている。	定期的な親子参加イベントの開催を行っていたが、コロナ禍で開催が難しくなっている。感染状況を見て後は再開していきたいと考えている。また、オンラインでの実施も含め開催方法の検討をしていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		都度、内容について全体で話し合い、対応している	迅速な対応が出来るように努めていく 改善点や対応方法などを保護者へも伝えて納得していただけるように努めていく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		毎月の事業所通信の発行。 長期休暇には事前に予定表を渡している所にイベント内容の掲示をしている	イベントについての様子等の発信方法の工夫をして情報提供していく イベント見学の機会を作っていく所での様子を把握しやすくしていく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		個人情報の取り扱いには十分に注意している 写真掲載の許可を保護者に取っている	外出時に職員同士の会話の中で個人情報の取り扱いに注意していく
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		保護者、子どもへの情報交換への配慮を心がけるようにしていく	必要に応じ、書面での伝達をしていく

40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	周囲に伏せているご家庭もあるので、事業所に招待をする等については非常に困難である。	子ども、保護者への理解、説明をしていき開催の機会を検討していく
----	------------------------------------	---	---	---------------------------------

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	職員全員への周知をしていく。	保護者へもマニュアルの内容の周知を行なっていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		定期的に訓練を実施し、保護者の引き取り訓練の参加協力を併せて行なっている。訓練の反省会を子どもと一緒にその日に行なっている	職員向けの訓練の実施を行なっていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		てんかん発作や常時服薬している薬があれば事前に保護者に聞き取りを行なっている	児童の服薬の状況やてんかんがある場合は職員への周知を徹底している
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		3	該当者なし	該当者がいる場合はおやつを持参してもらったり、誤って食べないように環境を整えていく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	日々のミーティングの時間に内容を共有するようにしている	ヒヤリハット報告書の作成は都度行なっているが、全体に共有が出来ていない。都度、報告書の内容を全体に周知していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	研修への参加を行い、職員への周知をしている。	日々の支援の振り返りの中で、不適切な対応を見つけ共有していくようにする
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		3	該当者なし	契約の際にやむを得ず身体拘束が必要な場合は必ず説明をするようにしていく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。